

# 地域福祉権利擁護事業における生活支援員活動に関する調査研究結果の概要

平成17年3月

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

地域福祉権利擁護事業における生活支援員活動に関する調査研究委員会

## 地域福祉権利擁護事業における生活支援員活動の課題

地域福祉権利擁護事業の相談援助活動は、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を入口として始まっているが、実際には生活支援全般にわたる幅広いものとなっている。

地域福祉権利擁護事業による支援が徐々に広がりを見せ、地域に浸透されつつあるなかで、生活支援員は援助の現場で、利用者や家族に寄り添いながら、その多様で複雑な生活実態や生活課題の諸相に切実に直面し、対応している。

生活支援員活動に関するヒアリングからは、もっとも身近な助言者である専門員からの指示方法や内容、役割分担・連携方法等について、各基幹的社協の専門員の裁量に任されているのが実態であり、標準化されていない状況にあること、生活支援員は幅広く市民参加を募り、地域の人材に担い手を求めることを想定しているが、その確保が難しい状況もでてきており、生活支援員に求められる資質や養成のあり方、活動環境などを整え、支援する体制づくりが課題となっていることが明らかになった。

## ヒアリングからみた生活支援員活動の課題

### 〔支援内容について〕

- ・生活支援員が行う援助の範囲が明確でないため、支援内容にバラツキがある
- ・限られた支援時間のなかでは日常的近世管理業務を優先せざるをえず、他の業務に十分な時間がとれない

### 〔専門員との連携状況について〕

- ・利用者情報の共有と援助方針の確認が不十分である
- ・専門員が、生活支援員業務を兼務している
- ・専門員と生活支援員との連絡が迅速にできていない

### 〔生活支援員の確保、養成について〕

- ・採用方法に限界があり、新たな生活支援員の確保が難しい
- ・活動内容にみあった評価がされていないと感じている
- ・研修内容のミスマッチが生じている

## 生活支援員の方向性

上記のような個別課題への対応については、今後、十分な検討を要するが、生活支援員のより効果的な活動のためには以下の方向性に沿った活動が求められる。

### (生活支援員の活動環境の改善)

生活支援員活動の再評価

生活支援員をバックアップする体制の構築

(専門員との協働・連携のための PDSC サイクルによるマネジメントの充実)

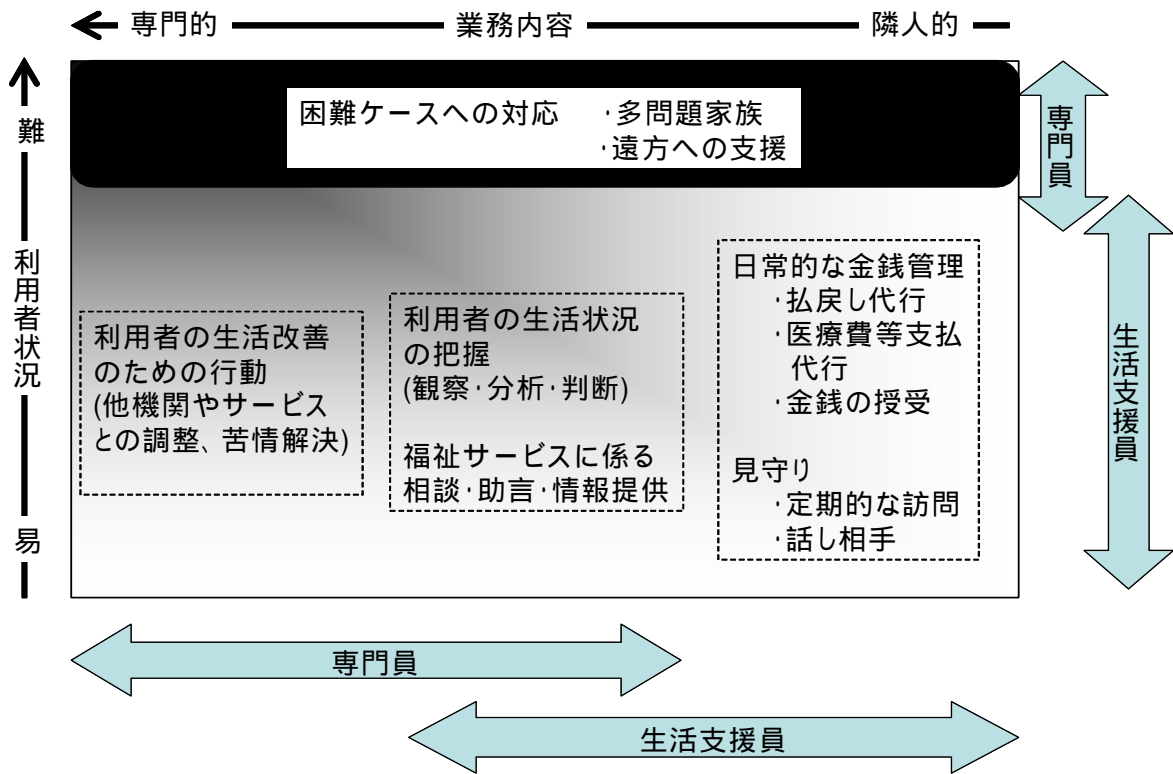
支援計画および援助方針の確認・共有化

援助にあたっての留意点の確認・共有化

記録・報告の重要性の確認と実施

専門員による指導・監督の整備・充実

### 生活支援員が行っている支援範囲のイメージ



### 生活支援員活動における PDSC サイクル

